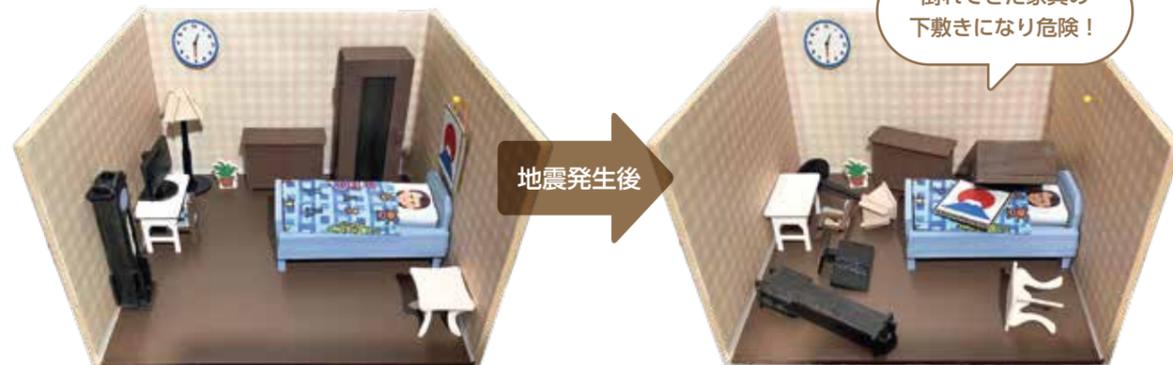


家具の配置を見直しましょう！

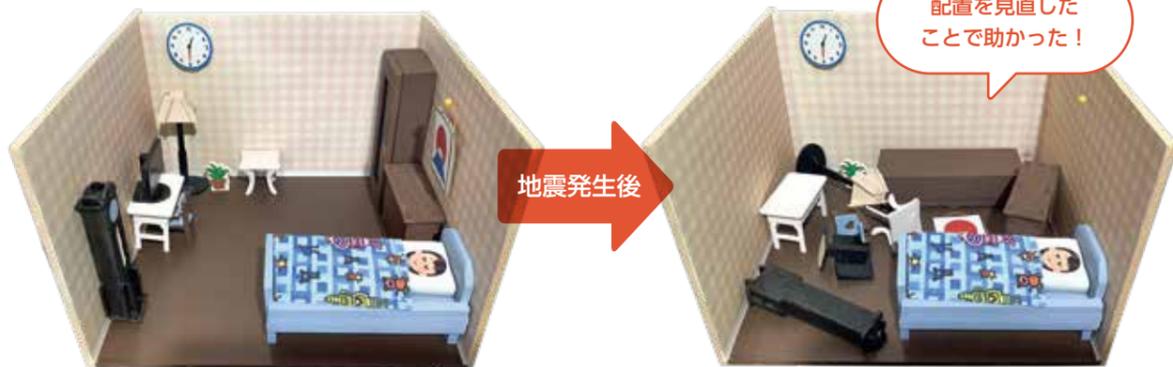
あなたの寝室はどうなっていますか？ 8時間の睡眠を取った場合、1日の約3分の1は寝室で過ごしていることになります。寝ている時に地震が起きる確率はとても高く、さらに無防備なため、すぐに地震に対処できないことも考えられます。家具の配置を見直し、地震に備えましょう。

見直し前の家具配置



地震発生後

見直し後の家具配置



地震発生後

ローリングストックを意識しましょう！

ローリングストックとは、普段の生活で使う食料や日用品を多めに買って備蓄し、使った分を買い足すことで常に一定の備蓄ができるという考え方です。

備蓄品の賞味期限切れを防ぐことができ、災害が発生した場合でも普段から食べ慣れたものを食べたり、使い慣れたものを使用したりできることが利点です。



地震対策で重要なことは、地震の瞬間とその直後に生き残り、けがをしないことです。地震はいつ起きるかわかりません。備蓄品など日々の備えを確認し、少しずつ対策をしていきましょう

地震対策

できていますか？



今年の3月11日で、東日本大震災から11年がたちます。その間にも熊本地震や北海道胆振東部地震など、全国各地で大規模な地震が発生し、大きな被害もたらされました。

また、昨年10月7日には東京・埼玉で震度5強(古河市では震度4)を観測するなど、身近な地域が震源となる地震も発生しています。

自然の脅威である地震を防ぐことはできませんが、事前の「備え」により、被害を小さくすることは可能です。大切な命を守るため、改めて地震対策について考えてみませんか。

大地震が起きたら古河市はどうなる？

内閣府が設定した首都直下の大きな地震で、古河市に影響を与えると想定されているのが「茨城・埼玉県境地震」です

この地震による古河市の想定最大震度 ⇒ **6強**

震度6強の地震とは

- ・立っていることができず、這わないと動くことができない
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多い
- ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
- ・補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる

出典：気象庁震度階級関連解説表



東日本大震災後の古河第七小学校前の地割れ

地震が発生したら？

地震の瞬間

- ・低い姿勢を取り、頭を守る(周りにクッションや本があればそれを頭からかぶる)
- ・天井や周囲を確認し、物が落ちてこない場所に移動する(室内に机があればその下に移動)
- ・トイレにいるときに強い揺れを感じたら、ドアを少し開けておく

揺れが収まった後にやってはいけないこと

- ・地震直後はガス漏れの危険があるため、火は使わない
- ・停電している場合、通電の際に火災の恐れがあるので電気などのスイッチは入れない